

★ツーリスト・バスターズの最後は、

ツーリストなる言葉を撤回させた近畿日本ツーリストについて書きたいと、前から思っていた。私はかねがね、業界人ではない普通のOLが、電話の主の言葉そのままに「社長、近ツリからお電話です」と口走ることに脅威を感じている一人である。日本交通公社がJTBになった今も、近畿日本ツーリストは近畿日本ツーリストであり、決して、KNTになったりはしない。このような、長い社名は社員にとってある種の悲劇と言える。自分の知らないところで、自分の会社が男性の海水パンツの「金ツリ」になっていたら、あなたはきっと悲しむだろう。これは鹿兒島県出身というだけで「サツマイモのような人」と決めつけられてしまう悲劇に似ている。

★その近ツリが、4年前の'84国際伝統工芸博・京都で博覧会の入場券販売代理店となった。味をしめたのか、'85国際食博覧会・大阪のエージェントとしても成功をおさめ、ついにさ来年の花博も、JTB、JR西日本とともに券売代理店をつとめるまでになった。★考えてみれば、近ツリの母体・近鉄はなかなかしたたかである。南海・

なまあととの唯一の「在阪・パリリーグ・私鉄」球団だ。とくに今年は中日独走でシラけたぶんまで、野球をエンターテイメントしてくれた。優勝のかかった近鉄ローテ最終線、延長10回引分けて近鉄の優勝が消えた瞬間、私は今年でやめるくせに近鉄イジメをやってしまった有藤監督のエゴイズムにすっかり打ちのめされたものだった。きっとロッテは、ガムやチョコを売ってもらっている西武（西友、ファミリーマート）、SPARからなるセゾングループも）がこわくて負けられなかったのだ。この背景に、ロッテのドル箱であるビックリマンチョコが公正取引委員会のお達しで天使シールの種別を失くさざるを得なかった事件もなきにしもあらず、と私は見た。本国韓国ではロ

ッテワールドなる大レジヤランドやホテル経営に意欲を燃やすロッテだが、日本では西武（とくに、もうすと「セゾンコーポレーション」になるセイブに頭が上がらない。困ったことである。★話がそれだが、優勝を逃がした近ツリいや近鉄は、本店といえる「あべの近鉄」を11月11日、全館リフレッシュオープンさせた。横浜をこうに次ぐ、西日本では最大といわれる売場面積。

地下を近鉄あべの駅などと直結したターミナルフロントデパートに模様替えしてのスタートである。ついでにあの筆記体のようなKINTETSUのロゴも変わってしまった。KINTETSUの「KI」はやる「気」、元「気」、本「気」の「気」なのだそうだ。（CIを売りこんだ電通によると）

★またまた話がそれた。要するに言いたかったのは、「金ツリ」を連想させてしまふ近ツリのゆくえである。つくば博並みの2000万人動員はカタイ花博の総代理店でまたまた大儲け！は容易に想像できる。おそらくその次は、レジヤランドやレストラン経営、グループの都ホテルを駆使した、「ホテルでお葬式」キャンペーンでまたまた大儲け。本業の旅行ビジネスも、若干手薄なそれでいてプームの海外旅行に全力を注ぐはず。近所にツリに出かけるように、気軽に出かける海外「文字通り「近ツリの時代」は近いのであろう。

ツーリストバスターズ⑤(最終回) 近ツリの恐怖。

■PROFILE■

KAORI・MORIMOTO 森本香里 [コラムニスト・1965年生まれ]

愛媛県生。京都・光華女子大学文学部卒。コピーライターをめざすが、今春いきなりイベントプランナーに。おひつじ座 AB型、財産友人、UFO信じる。

「お詫びとお知らせ」

ご好評いただきました森本香里のツーリスト・バスターズは今回をもってひとまずお休みさせていただきます。次回から、今号D1レポート筆者のモータージャーナリスト山村崎高氏の「ワケクルマ→マチ・しりとり風族学」がスタートします。ご期待ください。

CLUB FAME COLUMN 1988

HAPHAZARD REMARKS

FROM KYOTO JAPAN

41